

平成27年 年頭所感



東京都正札シール印刷協同組合
青年部部長 城 篤史

新年明けましておめでとうございます。
平素より当青年部の活動にご理解、ご協力を賜り謹んで御礼申し上げます。

昨年を振り返ると春の消費増税の影響が大きく、安倍政権が掲げる経済対策の効果を実感することはなかなかできず、依然として厳しい状況が我々を取り巻いています。このような状況下では、他所にないアイデアや技術などの特徴を作っていかなければならないと切に感じています。

私は昨年春に青年部部長に就かせていただいてから、これまで様々な活動を行ってきました。主に「外部に向けた発信」をテーマに活動してきました。作っているものは同じだけれど手法が違っていたり、また同じ機械なのに他所とは違う変わったものを作っていたりと、部員同士でも様々な驚きがありました。そうした優れたものを外に発信することで、さらなるチャンスに繋がるものと考え、1社ではなかなかハードルが高い展示会に、部員が合同して出展しました。

それにより外へのアピールはもちろんのこと、自社の強みの再認識、効果的な表現の仕方などを学ぶことができました。今後はさらに、ユーザーに近い場所で直接的にシールの魅力を表現できる機会を作っていければと思います。

本年も全日本シール印刷青年部協議会（JS）の全国の仲間や、印刷産業青年連絡協議会（印青連）などのネットワークを活かした、組合青年部だからこそできる意義のある活動を続けていきたいと思っておりますので、引き続きご指導よろしくお願いいたします。